

資産運用レポート：超長期投資

1 はじめに

昨年 6 月、米国のバーモント州で、92 歳の老人がこの世を去りました。人生の大半を、百貨店の掃除夫やガソリンスタンドの店員として働き、生計を立てていた男性です。

ケチとしても知られており、ボロボロになったコートを安全ピンで止め、パーキングメーターを避けるため遠方に駐車して歩いたというエピソードが残っています。

質素な暮らしぶりからして、決して裕福に見えなかった男性が周囲を驚かせたのは、死後に残された 800 万ドル（日本円で 9 億 9 千万円、1 ドル 124 円で計算）の遺産でした。

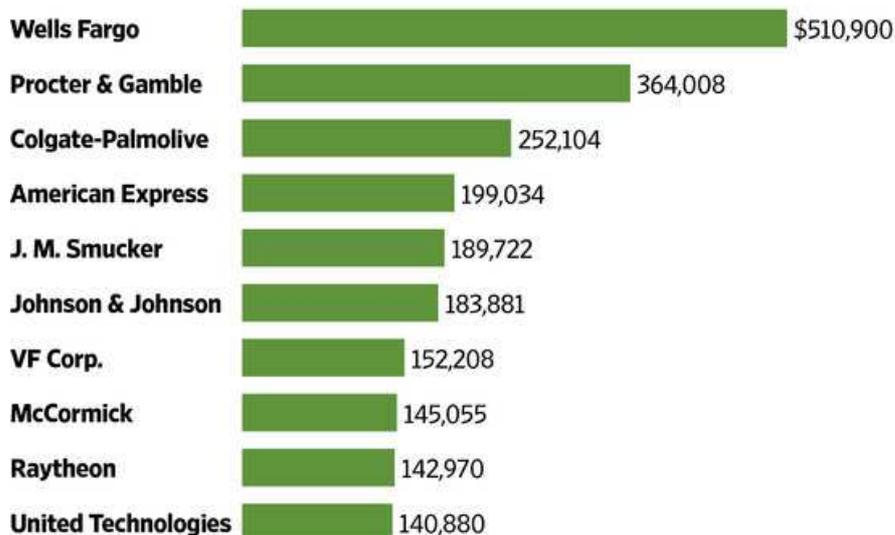
遺産の大半は、ウェルズ・ファーゴ、P & G、コルゲート・パーモリーブといった優良企業の株式で占められていました。

彼の名はロナルド・リード。収入に恵まれない仕事を続けながらも儉約を心掛け、株式投資で資産を築いた人物として、今の米国ではちょっとした有名人です。

★ロナルド・リードのポートフォリオ

The Multimillionaire Next Door

Ten of Ronald Read's biggest holdings as of his death, according to preliminary data



Source: Claire Johns, executor of the estate (stock names and preliminary share counts)

THE WALL STREET JOURNAL.